

## 研究室紹介

コミュニケーション・デザインラボ  
(Communication Design Laboratory)

当麻 哲哉准教授

元・米国3M社Advanced Product Development Specialist  
専門分野:ブロードバンド社会の先端システム開発と国際的マーケティング  
グローバル企業開発技術者として海外で豊富なプロジェクトマネジメント経験。製品の市場導入、売り上げ貢献で受賞多数。



当麻研第1期修了生一同(3月修論発表会にて)

### コミュニケーション・デザインラボ

この研究室では、「コミュニケーション・デザイン」をキーワードに、様々なコミュニケーション関連の研究を行っている。その範囲は、教育、医療、ITシステム開発、マーケティング、活字メディアなど幅広い。

そんな状況の中、本年度の研究活動は、理工学部小池康博教授を中心研究者とする「内閣府最先端研究開発支援プログラム～世界最速プラスチック光ファイバーと高精細・大画面ディスプレイのためのフォトニクスポリマーが築くFace-to-Faceコミュニケーション産業の創出」が中核をなしてくる。というのも当麻准教授が、このプロジェクトの3つのサブテーマのひとつ、「Face-to-Faceコミュニケーションシステム開発」のサブテマリーダーに任命されたからである。

#### 当麻准教授 最先端研究開発のサブテマリーダーに

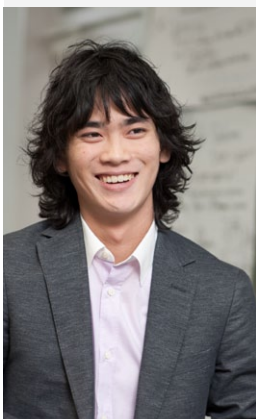
このプロジェクトが、2010年3月19日付日本経済新聞朝刊1面トップ記事「日本発の光技術 実用化へ」として紹介されたのは記憶に新しい。家庭の中にまで光通信ネットワークを構築するためのプラスチック光ファイバーの開発、それをつなげる家電機器の開発、そしてそこから

生まれてくる新しい製品やサービスなどの産業創出という壮大な計画のために、慶應義塾は「慶應フォトニクス・リサーチ・インスティテュート(KPRI)」を発足させ、所長に小池教授、副所長に前ローソンCIO横溝氏を迎え入れた。

ここでの当麻准教授の役割は、産学連携による新たな産業の創出である。すでにSONYや積水化学工業をはじめ、大手企業各社がこのサブテマに参画を表明している。

当麻准教授はこう語る。「ここではテクノロジーの開発だけでなく、アプリケーションやビジネスモデルの開発も含まれ、まさに大規模複雑システムを扱う、システムデザイン・マネジメントが必要とされる場となることでしょう。そして、国民がワクワクするような未来を作り上げるために、SDMの先生がたが取り組んでいる最先端の研究、たとえば前野教授の触覚伝送、小木教授の超高解像度高臨場感映像、春山教授の可視光通信などの関連技術を結び付けていこうと思っています。参加企業の皆さんも、たいへん盛り上がりつつあり、大きな成果を生み出す土壌が揃って来ました。国民の期待に必ず応えていけると確信しています。」

### 当麻研究室 修士2年立石君が起業

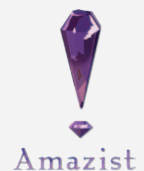


立石幹人君は、学部在学中(慶應義塾大学環境情報学部村井純研究室)より「無線ネットワークビジュアルイゼーション」をテーマに情報リテラシーのあり方を研究しているが、SDM入学後は、当麻研究室で「ゼロ複屈折ポリマーを応用したり

#### 立石君の声

近年、中国の経済的成長をはじめとして世界市場が大幅に拡大しています。これにより、各国が持つ強みを如何に世界市場に提示し魅了することが重要となっています。日本においては、その高度、かつインベティブである技術を如何に最適な市場に投入することが最重要課題となっています。しかし、技術の投入先にある市場、およ

アプロジェクションスクリーンの研究」に焦点を絞り、研究活動を続けている。立石君は、これまでの研究を活用したビジネスを展開するために、2010年4月15日にアメジスト株式会社を設立した。



び社会全体を見ることに目が行き届かない我が国では、技術を魅せるための方法を追求することに及んでいないのが現状です。今般設立したアメジスト株式会社では、そのような問題を、コンセプト・メイキングからイベント企画、ウェブ制作等のヴィジュアルメイキング、メディアアート作品制作を通じて、システム思考を用いた技術ブランディングの支援をさせていただきます。

▶ <http://www.amajist.co.jp>

▶ <http://www.sdm.keio.ac.jp/en/voices/tateishi.html>



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学 協生館

Tel: 045-564-2518 Fax: 045-562-3502 E-mail: [sdm@info.keio.ac.jp](mailto:sdm@info.keio.ac.jp)

\* Fax や E-mail での連絡の際には、お手数ですが Subject の先頭に「SDM 研究所」とお書きください。

**SDM**  
System Design and Management